

## 渥美二郎さんが障害者施設を訪問

本日 27 日午後 1 時 30 分、歌手の渥美二郎さん（64 歳）が、区立すぎのき生活園（井草 3-18-14）を訪問。渥美さんのヒット曲「夢追い酒」や「釜山港へ帰れ」などを熱唱しました。

区立すぎのき生活園は、18 歳以上の重度の知的障害者に対し、その心身の発達を促進し、日々充実した生活を送りながら社会的に自立できる能力を育てるために必要な支援を行うことを目的とした知的障害者通所更生施設です。

渥美さんは杉並区内在住。昭和 27 年 8 月 15 日生まれの 64 歳です。その渥美さんが 47 歳だった平成 12 年に、すぎのき生活園でのミニコンサートはスタートしました。そのきっかけは、渥美さんの近隣にお住いの方が同施設を利用していたことで、平成 12 年から年 1 回、今回で 18 回目になります。渥美さんのボランティア活動の原点は、平成 7 年に発生した阪神淡路大震災の被災児童救済のためのチャリティーコンサートで、「人仁の会（にんじんのかい）」です。その取り組みは、現在も東日本大震災の被災地支援として続いています。

すぎのき生活園でのミニコンサートも、18 回と回数を重ね、毎年の恒例のコンサートとして、施設の利用者や保護者、近隣の住民や高齢者施設の利用者などがこの日を楽しみにしています。こうして集まった 100 人ほどで、会場のホールは熱気に溢れていました。

午後 1 時 30 分、渥美さんが登場。約 1 時間に渡り、大ヒットをした『夢追い酒』や『釜山港へ帰れ』などを熱唱しました。また、コンサートの途中では、施設職員のピアノやギターの伴奏で、童謡の『ふるさと』や『千の風になって』などを渥美さんと会場みんなと一緒に歌うなど終始なごやかな雰囲気となりました。また、コンサートの最後に、



渥美さんは、「また歌いに来ますので、元気でいてくださいね！」と笑顔で挨拶すると、会場からは大きな拍手が贈られました。

すぎのき生活園の梅津幸一園長は、「渥美さんの長年に渡るご厚意には頭が下がります。施設の利用者もとても楽しみにしているので、健康に気を付けてこれからもご活躍いただきたいと思っています。」と話していました。

### 【問い合わせ先】

すぎのき生活園けやきグループ：TEL 03-3301-4160